

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2025.Oct Vol.50

Presented by 株式会社ジェイック



【大学中退者アンケート】

大学中退増加に影響を与える要因

「経済情勢」と「キャリア教育の不足」が同率1位

大学中退者 アンケート

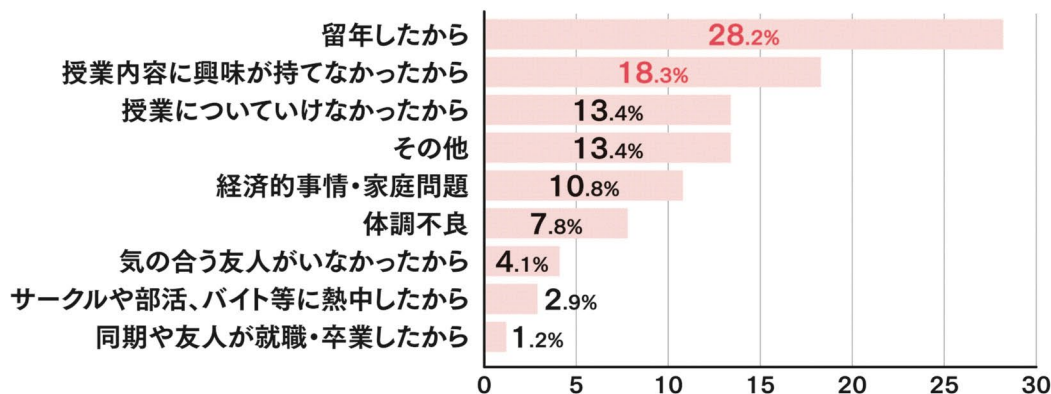
大学中退増加に 「経済情勢」と「キャリア教

今年8月に文部科学省が公表した『令和6年度 学生の中途退学者・休学者数の調査結果』によると、中退者は前年より微減したものの、依然**6万人以上**の大学生や大学院生等が中退をしています。株式会社ジェイックでは「未内定学生」や「就職活動に出遅れてしまった方々」への伴走支援を強みとしていますが、その中で、20年以上にわたり大学中退者向けの就職支援も展開してきました。今回は中退者専門の就職支援サービス「ジェイック 中退就職カレッジ®」において、受講生に対して行った大学中退に関するアンケート結果のご案内です。キャリア支援はもちろん、学生の生活支援含め、ご参考になる情報があると思いますので、ぜひご覧ください。(総回答者344名、調査日2024年4月1日-2025年3月31日)

Q.大学の中退理由

(N=344)

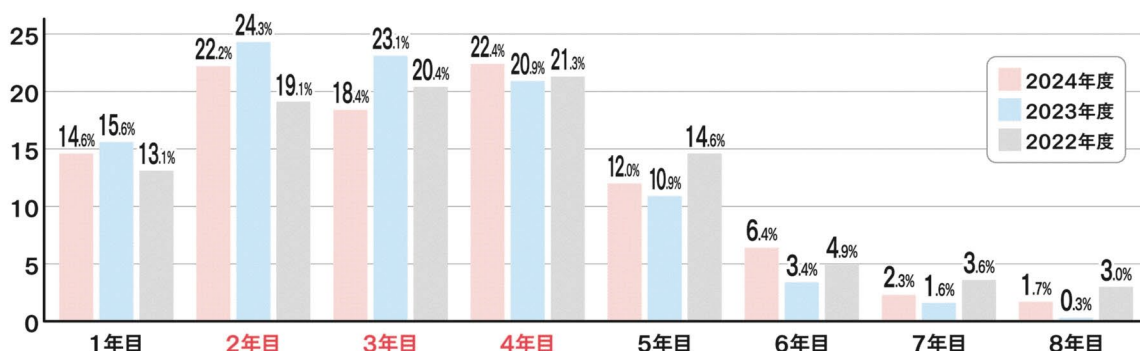
「大学の中退理由」を質問したところ、「**留年したから**」が28.2%、「**授業内容に興味が持てなかったから**」が18.3%、「授業についていけなかったから」「**その他**」がそれぞれ13.4%、「**経済的事情・家庭問題**」が10.8%、「**体調不良**」が7.8%、「**気の合う友人がいなかったから**」が4.1%、「**サークルや部活、バイト等に熱中したから**」が2.9%、「**同期や友人が就職・卒業したから**」が1.2%となりました。



Q.実際に中退をしたのは(する予定なのは)入学後何年目か

(2024年度N=344、2023年度N=321、2022年度N=329)

「実際に中退をしたのは(する予定なのは)入学後何年目か」と質問したところ、「1年目」が14.6%、「2年目」が22.2%、「3年目」が18.4%、「4年目」が22.4%、「5年目」が12.0%、「6年目」が6.4%、「7年目」が2.3%、「8年目」が1.7%となりました。2022年度、2023年度、2024年度の調査結果のいずれも、「**2年目**」「**3年目**」「**4年目**」での中退が**上位3つ**を占め、2024年度においても**全体の約6割**となりました。



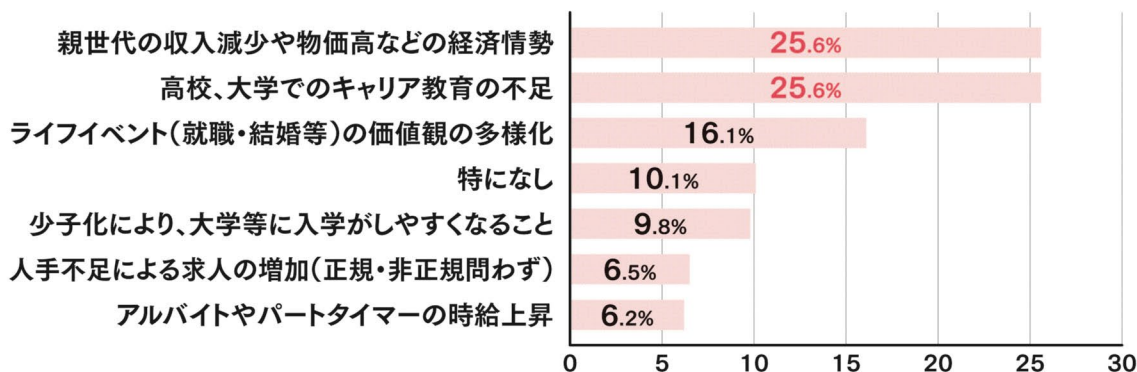
影響を与える要因

教育の不足」が同率1位

Q. 今後中退者が増える要因として、最も影響を与えると思うこと

(N=316)

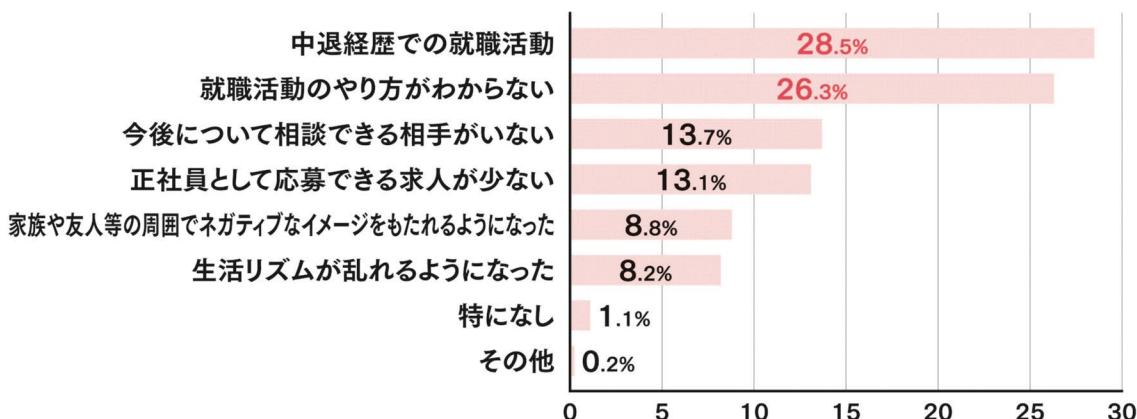
「今後中退者が増える要因として、最も影響を与えると思うこと」を質問したところ、「親世代の収入減少や物価高などの経済情勢」「高校、大学でのキャリア教育の不足」がそれぞれ25.6%、「ライフイベント(就職・結婚等)の価値観の多様化」が16.1%、「特になし」が10.1%、「少子化により、大学等に入学がしやすくなること」が9.8%、「人手不足による求人の増加(正規・非正規問わず)」が6.5%、「アルバイトやパートタイマーの時給上昇」が6.2%となり、経済情勢の影響と同様に、高校・大学におけるキャリア教育の不足も、中退者の増加に影響を与える要因として捉えられていることがわかりました。



Q. 中退(検討を含む)をして特に困ったこと

(N=316、複数選択)

「中退(検討を含む)をして特に困ったこと」を複数選択で質問したところ、「中退経歴での就職活動」が28.5%、「就職活動のやり方がわからない」が26.3%、「今後について相談できる相手がない」が13.7%、「正社員として応募できる求人が少ない」が13.1%、「家族や友人等の周囲でネガティブなイメージを持たれるようになった」が8.8%、「生活リズムが乱れるようになった」が8.2%、「特になし」が1.1%、「その他」が0.2%となり、上位2つの項目を合わせると、約6割が就職活動に関連する課題を感じていることがわかりました。



中退者が減らない理由と、彼らが直面する就職の壁

—— キャリア教育と支援のあり方を考える ——

当社の調査では、中退理由として、2022年度・2023年度・2024年度連続で『留年』が最多となっています。また、今回の調査で行った『今後中退者が増える要因として、最も影響を与えると思うこと』に対する回答では「高校・大学でのキャリア教育の不足」が経済的な理由と合わせ1位となりました。高等学校で進路を決定する際、学校の先生や保護者の意見を必要以上に重視したり、進学先の大学等に関して十分な情報を得ないまま進学を決定するなど、自分自身の進学先への納得感を持っていないまま入学し、その後、勉強内容にギャップを感じた時や人間関係などの悩みに対峙した際に、学習意欲が落ち留年に至ってしまうというケースも多くみられます。このような状況を防ぐには、高等学校時のキャリア教育やキャリアカウンセリング等を通じ、学生一人ひとりが自らの意思で進学

先を決定できるような支援を行うことが重要だと考えます。

また『中退（検討を含む）をして特に困ったこと』には『中退経歴での就職活動』が最多の回答となりました。昨今の新卒採用の難化にともない、新卒採用に苦戦する企業が第二新卒や中退者に採用ターゲットを拡大する傾向もある中、企業が中退者を採用する際に重視する点は『中退理由』となっています。中退理由には経済的な事情や留年など様々ですが、その経験から何を学び、社会人として還元していくかを面接等で伝えていくことが求められます。

当社では20年以上にわたり大学中退者向けの就職支援も展開しております。経歴の伝え方は、就職支援サービス等のアドバイザーを通じて振り返ることで整理がしやすくなるので、ぜひ対象の学生がいらっしゃれば、ご案内ください。

4年生の秋以降の就職支援プログラムに、お悩みがあればご相談ください

ジェイックのイベントは就職活動で苦戦している学生や、内定に結びつかず焦りを抱える学生にとって、事前研修+面接会という実践の場で「面接経験」を積み、「自分の現在地」を知り、「次のステップへのヒント」を得られる、総合的な成長機会を提供しています。参加学生からは「新たな自分の価値観を知ることができた」「今まで見ていなかった業界に興味を持てた」という声も多く、学生の就職活動のアクションを促進し、4年生の夏以降の内定取得率向上を実現させています。具体的には、下記のようなプログラムとなっております。

「Web面接会」プログラムとは？



これまで全国176校（2025年6月時点）の大学でご活用いただいている学生の就職活動をサポートするプログラムです。本プログラムは以下の流れで進みます。

1. ガイダンス～事前研修で就活対策

就職活動に必要な知識やスキルを習得するためのガイダンスと事前研修を実施します。

2. Web面接会

書類選考なしで約10社の企業との面接会を実施し、学生に多くの出会いの場を提供します。

3. 個別アドバイザーによる支援

学生一人ひとりに専属のアドバイザーがつき、就職活動をきめ細やかにサポートします。

また、学生の問い合わせやアクションを促進するため、マーケティング手法を用いたハガキや案内メールの作成もサポートさせていただきます。貴校のご要望に合わせてプログラムをカスタマイズできますので、お気軽にご相談ください。今後のイベント開催情報もメールでも発信していきますので、ぜひQRよりご登録ください。

イベント情報等の
メール登録は
こちらから



～Z世代の就活支援がわかる!～

キャリアセンターで活かす 就職支援の基礎知識セミナー

「Z世代の就活をどう支えればいいのか不安がある」そんな声にお応えし、就職支援の基礎知識を短時間で体系的に学べるセミナーをご用意しました。AIや就活サービスなどの活用法など、今押さえない知識を凝縮しています。

2025年
10月22日(水)
15:00～16:00
WEBセミナー

ご興味あれば
下のQRから
お申込みください!



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQR、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/DKss2TSRNTEAkVAdA>

